



camlog

カムログアバットメント ロケーター

追加サイズラインナップ より使いやすく

IOD(インプラントオーバーデンチャー)の維持に使用するカムログアバットメント ロケーターに、直径3.3mm用の4種類(歯肉貫通部の高さ1.0、2.0、3.0、4.0mm)と、直径3.8mm、4.3mm、5.0mm用にそれぞれ歯肉貫通部の高さ5.0mmが加わりました。使用できる症例の幅がさらに広がり、より使いやすいシステムに。



カムログアバットメント ロケーター商品一覧

商品コード		直径φ (mm)	GH (mm)
New J2253.3310		3.3	1.0
New J2253.3320			2.0
New J2253.3330			3.0
New J2253.3340			4.0
J2253.3810		3.8	1.0
J2253.3820			2.0
J2253.3830			3.0
J2253.3840			4.0
New J2253.3850			5.0
J2253.4310		4.3	1.0
J2253.4320			2.0
J2253.4330			3.0
J2253.4340			4.0
New J2253.4350			5.0
J2253.5010		5.0	1.0
J2253.5020			2.0
J2253.5030			3.0
J2253.5040			4.0
New J2253.5050			5.0

※ 3.3mmは下顎前歯部のみの適用になります。 ※ GH＝歯肉の高さ (Gingival Height) カムログアバットメント ロケーター 医療機器承認番号【高度】22700BZX00379000

明日からの臨床にスグ役立つ

インプラントオーバーデンチャーの
疑問と課題を解決するセミナー



藤関 雅嗣 先生 Masatsugu Fujiseki

1981年 東京歯科大学 卒業/博士(歯学)
1987年 藤関歯科医院 浅草診療室 開院
2006年 神田インプラントセンター 開院
東京歯科大学 パーシャルデンチャー補綴学 非常勤講師
日本補綴歯科学会 指導医・専門医
日本口腔インプラント学会 専門医・認証医
日本顎咬合学会 認定医
日本放射線歯科学会 歯科エックス線優良医
Implant Direct 公認インストラクター
GCセミナー 講師 / スタディグループ救歯会 会員
カムログインプラントシステム公認インストラクター

ロケーターアタッチメントの普及から、インプラントオーバーデンチャーへの関心が高まっています。しかしながら実際応用してみると、義歯が安定しない、破損を繰り返す、さらにはよく咬めないといった問題に遭遇したご経験をお持ちの先生も少なくないと思います。



本セミナーでは、これらの問題を解決するために、欠損歯列における診断の重要なポイント、欠損補綴としてのインプラントオーバーデンチャーの勘所、長期症例から見えてきた様々な支台装置の臨床応用の実際などを解決いたします。

東日本開催

株式会社アルタデント 東京支社 研修室

- ベーシックコース (講義のみ)
- アドバンスコース (実習あり)

西日本開催

株式会社アルタデント 本社 研修室

- ベーシックコース (講義のみ)

※ 日程等の詳細につきましては、決まり次第ご案内いたします。

ALLCADENT
株式会社

アルタデント

本 社 / 〒530-0012
東京支社 / 〒106-0047

大阪市北区芝田 2-8-31 第三東洋ビル 2F
東京都港区南麻布2-14-19 オキノビル3F

TEL 06-6377-2221
TEL 03-5420-2290

FAX 06-6377-2223
FAX 03-5420-4790